

様式記載例

1 事務所内での作業

1. 作業名 (機械・設備)	2. 危険性又は有害性と発生のおそれのある災害 (災害に至る過程として「～なので、～して」+「～になる」と記述します)	3. 既存の災害防止対策	4. リスクの評価			5. リスク低減対策案	6. 対策案想定リスク			7. 対応措置		8. 備考
			重篤度	可能性	リスク		重篤度	可能性	リスク	対策実施日	次年度検討事項	
ロッカー上に積み上げた荷を降ろす作業	キャスター付きの椅子を踏み台としてロッカー上の荷を降ろそうとしたため、椅子がすべり、作業者が床に転落する。	複数作業とし、1人が椅子を押さえ、他の1人が椅子に上がる	△	×	Ⅲ	滑り止め付きの踏み台又は踏み代のある脚立に変更する	○	△	I	○年○月○日	取り出しやすい位置に荷の保管場所を確保する	優先度は大。比較的容易な改善でリスクの大幅な改善が見込めが、引き続き安全教育も必要。
	脚立の最上部に上がって荷を降ろそうとしたため、バランスを失い、荷を落として、机で事務をしていた者に当たる	複数作業とし、1人が椅子を押さえ、他の1人が椅子に上がる	△	×	Ⅲ	十分な高さの踏み台又は手すりのある脚立に変更する	△	△	Ⅱ	○年○月○日	取り出しやすい位置に荷の保管場所を確保する	優先度は大。比較的容易な改善でリスクの大幅な改善が見込めが、引き続き安全教育も必要。

2 廊下・階段での作業

1. 作業名 (機械・設備)	2. 危険性又は有害性と発生のおそれのある災害 (災害に至る過程として「～なので、～して」+「～になる」と記述します)	3. 既存の災害防止対策	4. リスクの評価			5. リスク低減対策案	6. 対策案想定リスク			7. 対応措置		8. 備考
			重篤度	可能性	リスク		重篤度	可能性	リスク	対策実施日	次年度検討事項	
台車に荷を積み上げて運搬する作業	台車上にダンボール箱を積み上げて運搬しようとしたため、前方が見えず、他の通行人にぶつかり、荷が崩れて下敷きになる。	荷の高さを、台車のハンドルの高さまでとする	△	×	Ⅲ	かご付きの台車とする(又は複数の荷はベルトで固定する)	△	△	Ⅱ	○年○月○日	構内運搬には、ダンボール箱ではなく、滑り止めのついた専用容器とする	優先度は大。容易な改善ではあるが、台車の保管場所に工夫が必要。
大きな荷物を両手で抱えて階段を下りる作業	前が見えないため、階段を踏み外して転落する。	大きな荷の運搬は2人作業とする	×	△	Ⅲ	遠くともエレベーターの使用を徹底する	△	○	I	○年○月○日	使用しやすい箇所にエレベーターを増設する	優先度は中。エレベーターの増設するまでは安全教育の徹底が必要。

3 現場での作業

1. 作業名 (機械・設備)	2. 危険性又は有害性と発生のおそれのある災害 (災害に至る過程として「～なので、～して」+「～になる」と記述します)	3. 既存の災害防止対策	4. リスクの評価			5. リスク低減対策案	6. 対策案想定リスク			7. 対応措置		8. 備考
			重篤度	可能性	リスク		重篤度	可能性	リスク	対策実施日	次年度検討事項	
水洗による作業床清掃作業	水により床がすべりやすくなっているため、作業者がすべり、腰を強く打つ。	床面対応シューズの着用を遵守する	△	△	Ⅱ	床面にすべり防止素材を貼り付ける	○	△	I	○年○月○日	床に傾斜をつけ、排水溝を整備する等排水しやすい構造に改善する	優先度は中。改善による効果は大きいものの常時使用する場所であり施工時期の調整が必要。
(電動)丸のこによる切断作業	切断物の固定が十分でなく、丸のこが動き、身体に接触して切傷する。	安全教育の徹底	×	×	Ⅲ	固定用具の準備	△	△	Ⅱ	○年○月○日	切断専用場所を確保する	優先度は大。設備の改善と併せ、引き続き安全教育の徹底が必要。